

(令和7年8月25日発表)

カンヌ花火芸術祭 静岡チームが最高賞のヴェスタール賞とオーディエンス賞の2冠受賞

◆アピールポイント	・フランスカンヌ市で開催される「カンヌ花火芸術祭(※)」で、静岡で制作した花火による音楽ショーが、芸術祭最高賞「ヴェスタール賞」と「オーディエンス賞」の2冠を受賞しました。 ※1967年から開催、カンヌ国際映画祭会場として有名な「パレ・デ・フェスティバル・エ・デ・コングレ」が主催する世界で最も権威ある花火大会の1つ。
◆内容など	【授与式】 日時：2025年8月24日(日)20時～22時（日本時間：2025年8月25日(月)3時～5時） 会場：フランス共和国カンヌ市沿岸 ・最高賞である「ヴェスタール賞」と、一般投票により決定される「オーディエンス賞」の2賞が静岡チームに授与され、北川洋(きたがわ ひろし)在マルセイユ日本国総領事が盾を受け取りました。 【受賞に至るまで】 ・静岡市・カンヌ市の姉妹都市交流事業として、清水みなと祭り海上花火をプロデュースする㈱イケブunが、日本代表「静岡チーム」として芸術祭に出場しました。 ・大型台船5台（世界最長の全長 500m）で構成する打ち上げ場は、㈱イケブunの花火師が、現地花火師とともに4日間かけて準備を行いました。 ・ショーは「Sound of Resonance(共鳴し合う音)」をテーマに、静岡の花火のみを使用し、日本の伝統音楽やアニメ音楽を融合させた、情緒あふれる演目を披露しました。 ・審査は、フランスの芸術・メディア関係者、花火師から成る7人により行われ、花火の独自性や品質、音楽の選曲、同期性、全体的な芸術性の観点及び観客の反応などが総合的に評価され、芸術祭最高賞「ヴェスタール賞」に選ばれました。 ・審査員で、フランスの映画監督 デヴィッド・ヘルツォーク・デシテ氏は、次のとおり静岡チームの作品を講評しました。 「過去に本芸術祭で前例のない色彩の豊かさ、日本らしさ、力強さを結びつけた、卓越した作品が披露された。私は完全に心を奪われ、日本の地方へ詩的な旅をする感覚を持った。すべてが完全で、特に音楽と花火は厳格に一致していた。会場で観た人には、想定外の感情が引きだされ、感動の涙を流したことだろう。これぞ花火芸術の本質である。」 【難波市長のコメント】 「清水港で打ち上げられる静岡の花火が日本を代表して姉妹都市のカンヌ市で披露され、芸術文化に造詣の深いフランスの専門家に評価されたことは大変嬉しいです。 ㈱イケブunのフランスでの果敢な挑戦に敬意を表します。ぜひ、静岡市のお祭りやイベントでこれからも市民の皆様に新しい感動の体験を提供いただきたいです。」 【ショーの様様】 「カンヌ花火芸術祭」公式 Youtube チャンネルでご覧いただけます。 URL: https://www.youtube.com/watch?v=BGfS6fcHyxY (参考：市ホームページ URL: https://www.city.shizuoka.lg.jp/s4325/s012282.html)

紙資料 有(写真)

写真①②を使用の際は、

「©Clément Sauvage - 2025」の表記をお願いします。

【問合せ】国際交流課（静岡庁舎 16 階）

担当 岩瀬、武内

電話 054-221-1423



①8/15 イケブンショーの様子 ©Clément Sauvage - 2025



②イケブン花火師集合写真
©Clément Sauvage - 2025



③8/24 授賞式の様子